

2022年度第9回理事会 議事録 2023.1.19

日時：2023年1月19日（木）19：00～20：49

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平(15名) 欠席理事：大郷和成(1名) 出席監事：錠内広之(1名) 欠席監事：野々垣睦美(1名)
その他出席：池田公平(選挙管理委員会 委員長)

I.会長より挨拶

今年もよろしくお願ひします。本日も多数の議題がありますが皆さんの協力をお願いします。また選挙管理委員長の池田さんにお越しいただき、選挙に関して報告連絡をいただきます。

II.トピックス

【役員選挙公示と今後のスケジュールについて】 選挙管理委員会 池田委員長より

1. 役員選挙について

- (1)立候補期間 2023年1月19日～2月19日
- (2)会員への周知 2023年1月19日～2月24日 県士会ウェブサイトにて公示・お知らせ・立候補届を掲示
- (3)届出 ウェブサイトより立候補届をダウンロードし、必要事項を記入の上事務局に郵送
- (4)事務作業 立候補届の開票・保管・会員情報の照合は事務局と連携して行う

2. 今後のスケジュール（※は選挙管理委員会の事務手続き）

- (1)2/22(水) 理事会へ一次報告→推薦候補の必要性について審議を依頼
必要と判断→※ウェブサイト等に「推薦候補の募集」の情報を掲載依頼
- (2)3/23(木) 最終審議
※ウェブサイト等で推薦候補者の募集締め切りの情報を掲載依頼
- (3)5/14もしくは21日 総会にて結果発表、必要に応じて選挙の実施
※ウェブサイトにて結果の報告を掲載依頼

<質問確認>

- 選挙の公示については会員へ案内をしているのか
→ホームページに掲載し案内している。
- 公示と立候補開始までの期間が短いと感じる
→ワーキンググループとの検討準備が多数あり今回の運びとなった。この点についてご理解いただきたい。
- 立候補届は電子データでも受付可能か
→郵送のみの対応。

III.審議事項について

- 1. 厚木市障害者介護給付費等の支給に関する審査会 委員推薦について →承認
- 2. 小田原市箱根町真鶴町湯河原町障害支援区分認定審査会 委員推薦について →承認
- 3. 厚木市介護認定審査会 委員推薦について →承認
- 4. 2023年度休会申請者について →承認
- 5. 2023年度事業計画・予算案について →承認

県士会の資産については確認済み。研修会参加費、各部署の残金を併せて今年度の事業終了後に確定する予定。

現時点でも提案した事業計画通りに遂行できる財務状況であることを確認した。

IV.報告事項について(各部署・理事)

【各部署】

1. 事務局

(1)事務局員の採用について

2024年9月をもって事務局員1名が退職予定。これに伴い採用活動を開始する。採用開始時期は2024年4月1日を想定する。2024年4月より6か月間申し送り期間も含めて4名体制で運営する予定。

公募方法についてはハローワークや紹介などを活用する予定。財務に明るい人材を雇用したい。採用活動の進捗に合わせて方法については理事会に適宜相談する。

2. 事務局・財務部

(1)第10回社員総会について

ア)開催方法と日程・場所について

開催日程：5月14日(日) 10時～14時予定

開催方法：対面式(必要に応じてハイブリット方式を検討中)

※理事・役員・総会運営委員は基本的に議場出席とする

開催場所：神奈川県立かながわ労働プラザ 横浜市中区寿町1-4

イ)議案書について

1月20日より作成を開始。各部署の内容については作成可能な事項より開始。1か月ごとに事務局で取りまとめ、3月20日に各部署内容は完成まで進める。決算後の4月12日に最終完成を目標とする。

議案書が完成しだい代議員へデータ版を送付し、意見・質問を募る予定。

ウ)期末監査について

期末監査を4月8日もしくは9日に実施する予定。総会準備に伴い今年度も事業が完了した部署から決算書類等を受け付ける。4月4日を最終締切とする。なお、3月1日以降事業が終了した部署は速やかに手続きを完了し期末監査書類の送付に協力をいただきたい。

3. 福利部

(1)研修会開催について

これからの倫理対応についてというテーマで、日本作業療法士協会倫理委員長太田睦美氏を招聘し、1月18日に開催。参加者数は20名。詳細は追って報告する予定。

4. 学会評議委員会

(1)第5回臨床作業療法大会開催報告(佐藤実行委員長、神保大会長)

ア)開催日程 12月11日 10時～16時半

イ)参加者 会員：61名 非会員：6名 学生・一般：73名 合計：140名

ウ)収支 マイナスなく終了 最終決算については後日県土会へ提出予定

エ)当日の活動 8時に会場集合しオンライン設備を整え9時55分より開会。午前中は県民公開講座2演題を実施。午後より指定教育演題2演題とシンポジウムを開催し16時30分に閉会とした。

オ)その他 SNSの活用方法については課題が残った

<学会評議委員会より アンケート結果共有>

会員参加者アンケート回収率は64.2%。参加者の内訳は経験年数10～20年目の方が多かった。オンライン開催に関するメリット・デメリットの意見を多数いただいた。また広報方法についても再検討の意見が挙がっていた。学会評議委員会にて意見を参考に引き続き検討していく。

また今後の学会等で取り上げてほしいテーマについても伺ったので学会ならびに臨床大会の参考にする

とともに、各部署が企画する研修会の参考にもしてほしい。

<神保大会長より>

皆様のご支援ありがとうございました。今大会は完全オンライン開催の模範を示せたと思います。今後の開催の参考としていただきたい。新型コロナウイルス感染症の流行はまだ続いていますので、オンラインを活用した開催は続いていくと思われませんが、引き続き最適な開催方法について模索していくことが肝要と思いました。

(2)第19回神奈川県作業療法学会について

明日1月20日より発表意思表示期間が開始され3月20日が締め切りとなる。多くの会員に発表をしていただきたいので周囲の会員に広報を依頼したい。

5. 公益法人化対策委員会

(1)公益目的事業比率について

5年前に試算したデータでは法人会計に関して別途計上としていたため、共益事業が有効に行なえない試算となっていた。情報収集の結果、法人会計に関しても、公益、共益、法人会計に按分できることが分かった。現状で再試算すると約630万円程度が共益事業として計上ができる。また今後の試算についても、各部事業の内容を照らし合わせ公益事業比率は増加できるものと思われる。特に研修会については県民、他職種の方々が参加可能とすれば実現性は高まる。各部署の事業について改めて検討してほしい。

<意見交換>

○公益目的事業比率を満たせば、予算規模等は関係なく申請は出来るのか。

→可能。

○会員のスキルアップを目的に行っている研修は必要であるため、全て県民が参加できる事業として行うことは難しいと考える。特に教育部が主催する生涯教育については、作業療法士の生涯教育が目的であるため、県民ならびに他職種の参加は困難なため、公益事業費として計上は難しいのではないか。

○県民に参加していただけるのであれば県民の興味関心や分かりやすい内容など工夫する必要がある。

○会員、県民、他職種の全てが研修会に参加しなくても条件を満たすのか。

→他職種もしくは一般者の参加があれば条件を満たす。

○他職種の参加が条件とすれば學術部のスキルアップ研修会はすでに非会員と他職種、学生の参加実績があるため、全ての事業が公益事業として計上できるのではないか。

→計上できると考える。

○提示された試算は根拠が少ないため実現性に欠けるのではないか。より具体的な検討が必要と感じる。

○今後具体的に検討していくために、何を目的に何を行うのか公益法人化対策委員会から方向性の提案してほしい。

<結論>

公益法人化対策委員会より具体的な目的と内容ならびに方向性について理事会へ提案する。

(2)第2回県民公開講座について

災害福祉がテーマ。3.11東日本大震災が起きた日を目前に、災害弱者の存在を広く知って頂くことで、今日の障害児・者の暮らし方や共生社会のあり方を考える機会とする。3月5日(日)14~16時オンライン開催を予定。周囲の方々に広報をしたい。

【理事】

1. 田中理事

(1)40周年記念事業プロジェクトチームより報告

チャレンジ動画が完成したので後日ホームページに掲載する。協力いただいた方々に感謝する。

ロゴマークの透過版も完成したので利用してほしい。

2. 金山理事

(1) 選挙ワーキンググループより

1月13日に選挙管理委員会へ役員選挙マニュアルを説明。三役の互選方法については引き続き検討中。互選方法のマニュアルに関しては理事会に今後提案予定。意見交換の上で完成としたい。また代議員選挙に向けた選挙管理委員ならびに委員長の選出・決定方法についても理事会へ相談する予定。前回の役員選挙に関する総括については来月の理事会で示し今後円滑に運営する一助としたい。

3. 遠藤理事

(1) 神奈川県栄養士会主催 介護予防研修への協力について

平日夜を含め3回シリーズで実施しており、第3回目の1月15日にファシリテーターとして協力した。Withコロナとして対面方式で開催された。今後当会でも参考に対面での研修会が開催できればと感じた。

(2) 神奈川県主催 1月31日(火)開催の令和4年度市町村介護予防事業担当職員等研修会について

講師として出席予定。資料作成等について理事・役員へ協力をいただく際は役員に適宜協力を依頼する。当日の参加については希望があった西川理事とともに、地域リハビリテーション部を含めて参加する。

4. 神保会長

(1) 「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書(改訂案)」の締結について

以前より日本作業療法士協会と連携を図っており引き続き進めていく。代議員ならびに会員へ社員総会で説明し、ニュース等にて新入会員を含めて情報発信を行っていく。

→理事会全体で上記について確認した。引き続き会員情報の管理については厳重に行う。

(2) 2023~2026年中長期計画(案)について

理事からの意見を踏まえて修正案を作成し説明。再度理事より意見を募り来月の理事会で最終確認を行う。

V. その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、野本理事、木村理事。

2. 監事より

(1) 錠内監事

お疲れさまでした。公益法人化対策に関しては過去に情報収集した際に専門家等より事業費比率について助言をいただきましたが、今回の当該部門からの報告でさらに明らかになりました。先ほど意見交換でもあったように、今後公益法人化対策委員会には「何を目的に何を行うのか」とともに「どのような条件をクリアする必要があるのか」を含めて、当会の方向性の具体案を示していただきたい。それに続いてメリットとデメリットを洗い出し、当会の意思決定を行うことが大切だと考えます。財務管理に関しても引き続き関係部署を中心に検討してください。今年度の理事会は残すところ3回となりました。審議検討を考えると実質2回と考えても良いと思います。引き続き検討課題について理事会で検討し、来期へ課題の積み残しが減らせるよう意思決定を進めてください。よろしく申し上げます。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	野本 義則	印
	理事：	木村 修介	印
	監事：	錠内 広之	印

次回理事会日程：2023年2月22日(水)19時より開催予定